

みずほCustomer Desk Report 2016/10/21号(As of 2016/10/20)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	103.40	1.0973	113.50	0.9894	1.2292	0.7725
SYD-NY High	104.11	1.1040	114.54	0.9932	1.2299	0.7735
SYD-NY Low	103.35	1.0916	113.38	0.9841	1.2213	0.7622
NY 5:00 PM	103.96	1.0930	113.61	0.9929	1.2253	0.7625
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.42/9.82	25RR	1.475	Yen Call Over		
NY DOW	18,162.35	▲ 40.27	債券市場			
NASDAQ	5,241.83	▲ 4.58	日本2年債	-0.2650	0.7bp	
S&P	2,141.34	▲ 2.95	日本10年債	-0.0650	▲ 0.8bp	
日経平均	17,235.50	236.59	米国2年債	0.8190	2.4bp	
TOPIX	1,370.80	13.60	米国5年債	1.2525	2.6bp	
シカゴ日経先物	17,305	290.00	米国10年債	1.7556	1.2bp	
ロンドンFT	7,026.90	4.98	独10年債	0.0030	▲ 2.7bp	
DAX	10,701.39	55.71	英10年債	1.0770	▲ 0.5bp	
ハンセン指数	23,374.40	69.43	豪10年債	2.2860	▲ 1.0bp	
上海総合	3,084.46	▲ 0.26	為替市況	USD/CNH	6.7479	0.0073
USDJPY 3M Vol	10.33	▲ 0.31%	商品市況	ドルインデックス	98.32	0.40
USDJPY 6M Vol	10.62	▲ 0.15%	CRB指数	188.775	▲ 1.99	
EURJPY 3M Vol	10.99	▲ 0.21%	NY金	1,267,500	▲ 2.40	
EURJPY 6M Vol	11.36	▲ 0.14%	WTI	50.630	▲ 1.19	
			Dubai Spot	48.35	▲ 0.41	

東京	東京時間のドル円は103.40レールでオープン。前日に欧米株式市場が堅調推移を見せたことで日経平均株価も上昇基調を示し、ドル円も連れ高となる。注目の米大統領選・第3回討論会では、トランプ氏の巻き返しに注目が集まっていたものの、発言内容は真新しさに欠ける内容となり、USD/MXNが6週間ぶりの安値をつける等、トランプ氏劣勢との見方が強まった。その後は日経平均株価が堅調推移を見せるとドル円もじり高の展開となり、103.78まで上昇した後、結局103.68レールで海外市場へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は103.68レールでオープン。ECB理事会の結果・記者会見を待ちとなり、全般的に小動きとなる。ECB理事会結果は予想通り据置きの結果となり、ドル円は小動きの後、103.63レールでNYへ渡った。ロンドンドルは1.2275レールでオープン。予想より弱い英小売売上高指数を受けロンドンドルは小幅下落し、1.2262レールでNYへ渡った。
ニューヨーク	NY時間のドル円は103.63レールでオープン。朝方発表された10月フィデリティ連銀景況が予想を上回る103.87まで上昇。その後、ECB金融政策発表後のドラギ総裁の会見で「テ-ハリグについては話していない」との発言があるとユーロでドル買いが強まり、ドル円も一時104.11まで上昇。強弱混雑の決算発表で米株式市場が小幅安で推移する中、ドル円は104.00-103.90でのレンジ推移となり、103.96レールで海外市場に渡った。一方ユーロドルは1.0976レールでオープン。ECB会合後のドラギ総裁の会見では「量的緩和の延長については話さなかった」との発言があり、テ-ハリグ観測が強まるとユーロドルは1.1040まで急伸。しかし直後に「QEのテ-ハリグについては話していない」との追加コメントに、ヘッドラインを読んだ市場参加者の売りや、オプションからの売りも出て1.0916まで反落。結局、注目されたテ-ハリグの是非については次回会合待ちとの見方が強まったが、ユーロドルはその後も上値重い推移となり、1.0930レールで海外市場へ渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 鶴田・橋

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月20日	08:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	09:30	豪 雇用者数変化/失業率	9月 -9.8K/5.6%	15.0K/5.7%
	10:00	米 米大統領選・第3回討論会	-	-
	17:30	英 小売売上高(前月比/前年比)	9月 0.0%/4.0%	0.2%/4.4%
	20:45	欧 ECB主要政策金利/預金金利/貸出金利	10月 0.00%/-0.40%/0.25%	0.00%/-0.40%/0.25%
	21:30	欧 ドラギECB総裁 会見	-	-
	21:30	米 失業保険申請件数	10/15週分 260K	250K
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況感指数	10月 9.7	5.0
	23:00	米 中古住宅販売件数	9月 5.47M	5.35M

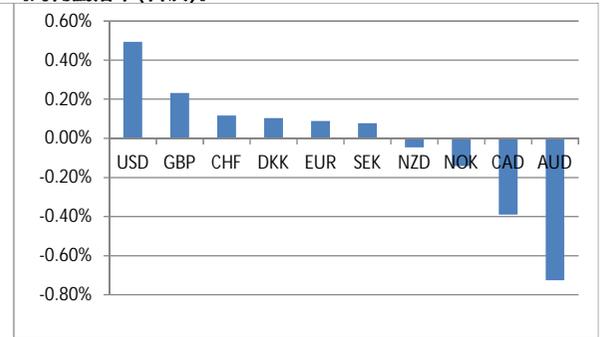
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月21日	15:35	日 黒田日銀総裁 全国信用組合大会挨拶	-	-
	17:00	欧 ECB専門家予測調査、公表	-	-
	21:00	欧 トゥスクEU大統領、メイ英首相、会談	-	-
	21:30	加 小売売上高(前月比)	8月 0.3%	-0.1%
	21:30	加 CPI(前月比/前年比)	9月 0.2%/1.4%	-0.2%/1.1%
	21:30	加 CPIコア(前月比/前年比)	9月 0.2%/1.8%	0.0%/1.8%
	23:00	欧 消費者信頼感・速報値	10月 -8.0	-8.2
	23:15	米 タル-ロFRB理事、講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	103.50 - 104.50	1.0870-1.1000	113.00-114.20

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は小幅上昇した。注目のECB理事会では、資産購入プログラムの延長について議論されなかったと伝わると一時ユーロが買われたものの、ドラギ総裁が緩和政策延長に含みをもたせる発言が伝わるとユーロ売りドル買いが進行。かかる動きに連られる格好でドル/円もじり高。加えて、フィラデルフィア連銀景況感指数や中古住宅販売件数などの良好な米国経済指標もドル高を支援する形となり、ドル/円は一時104円台まで上伸した。本日のドル/円は103円台半ばから104円を中心とするレンジ推移を予想する。今週の注目イベントも一巡し、欧州金融政策においても一時囁かれたテ-ハリグ観測も後退し、米大統領選におけるクリントン氏優位の情勢も変わらず、リスクセンチメントは落ち着いている印象。本日は目立った材料に乏しく、週末を前に様子見の展開になると考える。